

(Japanese Academy of Learning Disabilities)



日本LD学会会報

第36号

事務局：栃木県カウンセリングセンター内

〒320-0851 宇都宮市鶴田町687-9 ムギショウビル2F TEL. 028-649-0090 FAX. 649-1213

URL. <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jald/>

LDの関連疾患と自然歴に もっと興味をもとう！

大宮市心身障害総合センター 小児神経科

宮尾 益知

最近、マスコミにLDが記事として登場することは少なくなり、地に着いた教育現場での報告あるいは具体的な施策として取り上げられるようになりました。かわって様々なこどもの事件と関係し、ADHDが反抗挑戦性障害、行為障害、その後の犯罪と直接結びつくかのように取り上げられ、成人のADD、広汎性発達障害（高機能型自閉症、アスペルガー症候群）もマスコミに登場するようになってきました。

最近、私への診察依頼は、LD関連疾患のこども以外に、成人の方の相談が多くなっています。相談は、男性は一人だけでそれ以外はすべて女性ばかりでした。今までなぜ自分は人と違うのか悩みながら、誰も真剣に相談にのってくれず、悶々とした日々を過ごされてきています。診断は環境要因（PTSD、アダルトチルドレン、虐待）、気分障害（うつ病、二次障害としてのうつ状態）、非言語性学習障害、広汎性発達障害、ADDなどです。若い人は職業選択、転職、中年以降の人は家庭生活、対人関係など様々な悩みを抱えてのことでした。

先日ある会社の重役の人と本の話になり、成人のADDの話をしたところ、自分の会社にADDと考えられる人がいるということでした。頭が悪いわけではないのに、なぜ仕事をやりとげられないのかわからず、扱いに困っているそうです。神経心理学的な機序から説明したところ、よくわかったということでした。本人にアドバイスが欲しいということでしたが、自分で受診しようとしなければ先に進むことはできません。会社もバブルの頃は3%位、問題のある人達を抱えておく余裕があったそうですが、現在はそうもいなくなってきたそうです。おそらく、他にも職場で問題を抱えた人がいると思います。LD学会も、「学習障害：学習過程に問題があり障害を生じているこどもたち」についての専門家が集まった学会ですが、こどもたちは成長し、問題も移り変わっていきます。LD関連疾患の自然歴を調べ、成育的な観点から新たな取り組みをしていきましょう。これからも先を見据えたとつきあえる学会であって欲しいと思っています。